

<https://nanao-sh.metro.ed.jp/site/zen>

少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。日頃より本校の教育活動に御理解くださりありがとうございます。ICT通信も今号で今年度最終号となります。来年度もICT環境の整備を進めていきます。今号ではICT機器の紹介や、ICT機器やAIを活用した授業等について御紹介します。

ICT機器の紹介

【スマートスクール端末】

「スマートスクール端末」とは、TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの一環として、令和4年度より活用が始まった、学校所有ではなく、生徒所有の一人1台端末のことです。本校でも、昨年度から高等部全学年が所有し、各授業で活用しています。

小学部・中学部で使用しているGIGAスクール端末と違い、個人で所有する端末になるため、卒業後も使い続けることができます。現在本校では写真のようなタブレット端末を使用しています。



ICT利活用研修

【ミライタッチ活用研修】

今年度より教職員向けにICT利活用研修を実施しています。12月は「ミライタッチ」の活用研修を行いました。ミライタッチは、タブレット端末を映すだけでなく、複数台同時に映すことや、ホワイトボードのように使用することもできます。画面を2分割することもでき、片側の画面では搭載カメラで絵本を映しながら、片側ではホワイトボードとして使用する等様々な活用方法が紹介されました。子どもたちの興味・関心に応じて、ICT機器を効果的に活用しています。

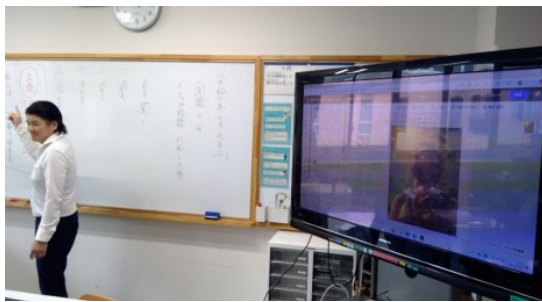




ICT機器の活用

【生成 AI を活用した授業】

高等部2年生の国語にて、物語を読んで、場面に合うイラストを Adobe Firefly で作成する授業を行いました。Adobe Firefly とは、生成 AI 機能で、テキストの指定のみで画像や動画を作成することができます。どんな指示を入れれば、物語に合った画像を作成できるか、思考錯誤しながら少しずつ指示を変えて、物語に合うように近づけていきました。生成されるまでの時間も、生徒たちには「どんな画像が出てくるか」のワクワク感があり、意図したものと違う画像が出てきても授業が盛り上がりました。



授業の様子



Adobe Firefly で生成された画像

※本授業は、都立学校の授業等におけるデジタル利活用の好事例として、都立学校全体に紹介されました。

【平仮名学習アプリの活用】

中学部、高等部で平仮名学習アプリを活用した授業を行っています。キーボード入力のアプリはたくさんあるのですが、50音のボタンで入力できるアプリはあまりなく、デジタルサポーター大窪さんに作成していただきました。レベル1として2文字の入力から始まり、正解し続けると3文字、4文字とレベルが上がっていきます。また、あ行・か行・さ行等指定した文字に限定することもでき、児童・生徒の習熟度に合わせてすすめることができます。ゲーム感覚で楽しみながら学習しています。

